

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	ベトナム国フ工省水道公社との二者覚書事業
実施期間	2017年7月～2019年12月
主催機関	横浜市水道局（独自事業）
事業概要・目的	<p>15年にわたり協力関係を築いてきたフ工省水道公社と、2017年7月に新たに2者間の覚書を締結しました。この覚書に基づき、浄水場の改善や研修コースの整備等の技術協力を進めるとともに、同公社の協力を得て、横浜水ビジネス協議会（※）会員企業のベトナム国におけるビジネス展開を支援しています。</p> <p>※ 上下水道の海外水ビジネス展開の推進を目的に、平成23年に設立された市内企業等による会員組織。平成31年3月末時点で171社が登録。</p> <p>1. 実施形態</p> <p>(1) 職員派遣（現地での調査・打合せ・技術指導・ワークショップ開催など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年に職員派遣を行い、給配水、浄水・水質、設備の3分野で技術協力を実施</li> </ul> <p>(2) 本邦受入（研修・視察・協議）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年3月に、副社長以下2名のフ工省水道公社幹部が来日</li> <li>覚書に基づく今後の協力事業について協議し、活動計画を策定しました。</li> <li>また、管路研修施設の見学、人材育成に関する研修を実施しました。</li> <li>・2018年9月に、給配水、浄水・水質の2分野で計研修員4名を受け入れ、研修を実施</li> </ul> <p>(3) ビジネス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年7月6日に、横浜水ビジネス協議会会員企業6社が参加した「水ビジネス推進セミナー」を横浜市水道局、横浜水ビジネス協議会、フ工省水道公社の共催によりフ工市で開催しました。会員企業によるプレゼンテーション、展示会を実施し、ベトナムの水道事業者等から58団体165人が参加しました。</li> <li>・幹部や研修員の来日時に、横浜水ビジネス協議会会員企業とのビジネスマッチングを実施。また2018年9月のIWA東京展示会にて、研修員が横浜水ビジネス協議会各会員企業のブースを訪問しました。</li> </ul> <p>2. 事業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管網構築</li> <li>・SCADAシステム</li> <li>・無収水対策</li> <li>・データ管理</li> <li>・浄水方法改善</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	ベトナム国フ工省水道公社等



パイロット地域にて、配水管理を支援

事業体（団体）名	<b>横浜市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
実施期間	2018年8月27日～9月21日
主催機関	JICA、横浜ウォーター（株）、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、平成20年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）を契機として、独立行政法人国際協力機構（JICA）と協力して、課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」コースの受入を開始しました。約1か月のコースで、平成30年度までに12回実施し、29か国から125人を受け入れています。</p> <p>アフリカでは、現在も多くの国で水道事業に関する課題を抱えており、アフリカ開発会議でも毎回テーマとして取り上げられています。参加国の多くは、お客さまに配っている水のうち30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの課題に直面しています。</p> <p>水道局では、浄水処理や水質管理、水圧・水量・水質などの配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義を行っています。参加者は、講義や実習で学んだことを踏まえて研修の中で自らの課題解決のための活動計画を策定し、自国に持ち帰って自らの取組みに繋げます。</p> <p><b>【平成30年度の具体的な研修の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水源、浄水場などの水道施設の視察及び水源管理、浄水処理、水質管理の講義</li> <li>・ 水安全計画やアセットマネジメントなどの取り組みの講義</li> <li>・ 無収水対策の講義及び管路研修施設を活用した漏水探査実習</li> <li>・ 横浜市水道記念館や技術資料館での日本及び横浜の水道の歴史の学習</li> <li>・ 図面管理、配水管理、水道メーター管理の講義</li> <li>・ 水道工事の工事現場視察及び施工管理の講義</li> <li>・ 出前水道教室への参加や小学生との交流</li> <li>・ 経営計画、検針・料金徴収、顧客サービスに関する講義や意見交換 ほか</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	30年度の研修員 7名：エチオピア（1）、エリトリア（1）、ケニア（1）、ナイジェリア（1）、マラウイ（2）、ルワンダ（1）



メーター検査室でのメーター検査の実習



小学校での出前水道教室の視察

事業体（団体）名	<b>横浜市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	マラウイ共和国ブランタイヤ水公社支援のためのボランティア連携
実施期間	2018年9月30日～11月10日（6週間）
主催機関	JICA、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、JICAボランティア制度を活用し、平成26年度から毎年マラウイ国のブランタイヤ水公社に職員を派遣しています。</p> <p>これまで、平成26年度から28年度までの3年間でブランタイヤ水公社に9名の職員を派遣し、漏水管理や料金徴収の改善等に関する協力を行ってきました。その後、ブランタイヤ水公社から派遣の継続に対する強い要望を受け、平成29年4月に新たな3年間の事業についてJICAとの覚書を締結し、平成29年度、30年度にさらに各4名、計8名の職員を派遣しています。</p> <p><b>【平成30年度までの派遣活動の概要】</b></p> <p>ブランタイヤ市内のChiwembe地区をモデル地区に無収水（漏水や盗水などで収入にならない水）の測定や削減の手法を指導し、無収水率を69.3%から35.8%まで削減しました。また、同地区での顧客満足度調査やワークショップを実施し、ブランタイヤ水公社の給水サービスに関わる課題を抽出し、改善を支援しました。さらに施工監理マニュアルや料金管理マニュアルなどの整備、出前水道教室の実施手法の指導、エネルギーマップの作成、水理解析の指導などを進めました。</p>
対象（相手）国・機関名	マラウイ国ブランタイヤ水公社



出前水道教室の拡充・指導



施工管理マニュアルの作成・指導